

■ 本部事務所 ☎(082)831-5011 FAX(082)831-5013 Eメール: asami@shakyohiroshima-city.or.jp
■ 佐東老人いこいの家 ☎(082)879-7880(FAX兼)

地域の“絆”を強める拠点を目指して

～毘沙門台ふれあいセンター 絆 開所～



6月25日(土)、毘沙門台団地に「毘沙門台ふれあいセンター 絆」が開所しました。

「ふれあいセンター 絆」は、平成27年3月まで消防職員待機住宅であった建物を、毘沙門台学区社会福祉協議会(社協)が広島市から無償貸与を受け、福祉交流の拠点として開設されたものです。

同センターの改修整備に係る費用は、広島県共同募金会の地域テーマ募金及び広島市、中国建設弘済会からの助成金を活用。地域テーマ募金には、地域にお住まいの方々等から150万円を超える多額の募金が集まり、広島県共同募金会から300万円の助成金を得ることができました。「地域にお住まいの方々の関心や期待の高さが伺えた」と同学区社協の木村会長。同学区社協においては、平成26年度から27年度の2年間、国土交通省の団地活性化モデル事業による住民アンケートの実施や団地再生セミナーの開催など、毘沙門台団地の活性化について取り組みを進めており、地域の方々の意識も高まっているところでした。

今後、1階4部屋を活用して、高齢者の支援(ふれあいサロン(=交流の場づくり)、認知症介護者のサロン等)、子育て世帯の支援(子育てサロン、放課後の子どもの預かり等)、障害のある方の支援(ふれあいサロン等)等の取り組みを順次スタートする予定です。

同学区社協の木村会長は「このセンターを多世代の方々が交流を深める場としていきたい」「健康寿命を延ばし、元気な高齢者を増やしていくような拠点としたい」「ここで交流しているうちに、団地内の全ての人々が家族のような関係になれば良い」と語っておられ、「さまざまな取り組みはこれからスタートするが、試行錯誤を繰り返しながら、長く続いていくものを考えて取り組んでいきたい」と意気込んでおられる顔には笑顔があふれていました。

＜手話ボランティア入門講座＞

手話が未経験で、ボランティア活動に関心のある方ぜひご参加ください。

日時：平成28年8月24日(水)～10月5日(水)の
毎週水曜日18:30～20:30 <全7回>

会場：安佐南区総合福祉センター 5階 ボランティア研修室

内容：聴覚障害についての理解や手話の学習

定員：30名(定員になり次第締め切り)

参加費：500円(資料代として)

締切：8月18日(木)

協力：広島市ろうあ協会安佐南区支部
手話サークル古市



第7回

安佐南区 ボランティアまつり

開催
告知

- 日時：平成28年10月2日(日)10:00～15:00
- 会場：安佐南区総合福祉センター
- 内容：ボランティア体験、ステージ発表、健康相談、
販売・バザーコーナー、緑日・遊びコーナー、
災害について考えるコーナー など

昨年は「来てみんない 楽しみながら つながろう」をテーマに開催し、楽しみながらつながりを持っていただけるようなまつりになりました。今年は、そのつながりがずっと続くよう願いを込めて「きてみんない ずっとつながる なないろの虹」をテーマに、実行委員会が中心となって準備を進めています。もちろん初めて参加される方も大歓迎。皆さんぜひお越しください。



安心して暮らせるまちづくりをすすめます



平成28年度安佐南区社協重点事業

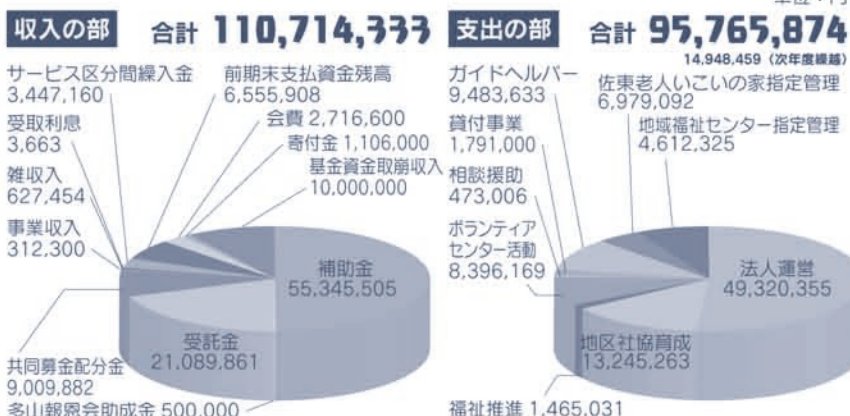
安佐南区社協は「安佐南区社協地域福祉推進第6次5か年計画」(H25.4～H30.3)に基づき、「みんなでつくる ささえあいのまち」をスローガンに掲げています。

「たすけあいのまちをつくろう」「一人ひとりの暮らしをささえよう」「活動をすすめる体制を強化します」の3つの柱を軸にして、住民一人ひとりが地域で安心して暮らせるまちの実現を目指し、地域のみなさん、行政機関、関係団体等と連携を図りながら、取り組みを進めていきます。

- 1 学(地) 区社協が取り組んでいる福祉のまちづくりを応援します。
- 2 支えあいと分かちあいの精神を大切にしたボランティア活動を支援します。
- 3 8. 20豪雨災害の被災者への支援活動を行います。経験を伝える取り組みも行います。
- 4 児童・生徒への体験を通した福祉教育の充実を図ります。
- 5 困難を抱えて援助を必要としている方々への相談と自立支援に向けた取り組みを行います。

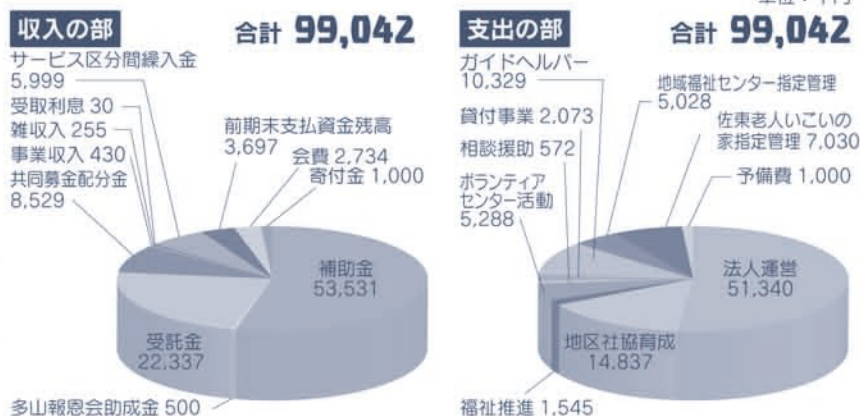
平成27年度 決算

単位：円



平成28年度 予算

単位：千円



安佐南区 復興連携センター

～4月からの活動報告～

安佐南区復興連携センターは4月から1名体制になりましたが、登録ボランティアのご協力をいただき区社協一体で被災者や地域の支援を行っています。そのほか、被災地ボランティアセンターとして経験や教訓をお伝えすることも重要な役割と認識し、視察や防災講座・教室の協力、訓練参加、記録などの貸出ほか積極的な情報発信に努めています。



寄付は地域を支える第一歩

寄付についてのご案内

皆様からの温かいご支援が、福祉の向上への大きな力になります。寄付はそのひとつの方法です。いただいたご寄付は、下記の事業に使わせていただきます。

☆このようなときに、寄付というはどうでしょうか？

- 長寿や結婚、金婚式などのお祝いの記念として
- フリーマーケット・チャリティーバザーなどの収益金を
- グループの忘年会、会合などの会費の一部を
- 香典返しに代えて
- お店などの募金箱から

☆主な寄付金の使途

- 地域福祉事業
- ひとり親福祉事業
- 障害児者福祉事業
- ボランティア事業

☆寄付金のお申し込み方法・お問い合わせ先
下記参照



お気軽にび相談ください

無料です

安佐南区社会福祉協議会では、生活上のあらゆる困りごと、悩みごとについての相談をお受けしています。お気軽にお電話ください。下記参照までお問い合わせください

弁護士相談

毎月第3水曜日
13:00～15:00 (要予約)

金銭トラブル、不動産、家庭問題、遺産相続など分かりにくい法律の疑問に弁護士がお答えします。

まちの保健室

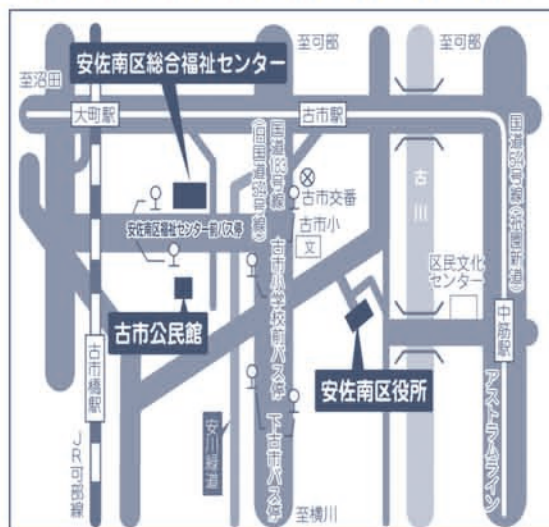
在宅看護職の会が健康相談を行います。

佐東老人いこいの家
第1・3月曜日
10:30～12:00
祇園福祉センター
第2・4水曜日
13:00～15:00

保育活動相談

第1・2・3火曜日
10:00～12:00

先輩ママ“MaMaぽけ”による子育ておしゃべりの場です。はじめての子育て、仲間づくりを応援しています。また、子育てサークルのことや子どものこと、ママ、パパたちの悩みなどの相談にのっています。ママ、パパの気分転換にどうぞ！



掲載記事へのご意見・感想・お問い合わせ先

社会福祉法人 広島市安佐南区社会福祉協議会事務局
〒731-0194 広島市安佐南区中須1-38-13 TEL 082-831-5011 FAX 082-831-5013
E-mail: asami@shakyohiroshima-city.or.jp